



# — KIZUNA —

2018 Summer Vol. 3



Prudential

プルデンシャル生命保険株式会社  
大阪中央支社 / 長副 亮

〒530-0011 大阪市北区大深町4-20  
グランフロント大阪 タワーA28F

TEL 06-6372-6131 FAX 06-6372-6129

携帯番号 090-7751-6221



プルデンシャル生命保険株式会社  
ライフプランナー

長副 亮

Ryo Nagasoe

株式会社ファインシステム  
代表取締役社長

山内 祐司

Yuji Yamauchi

社員は何を望んでる？

そえりが聴く

Business-Interview

第3弾

私の地元、加古川市でITとデザインに特化されているIT会社を事業承継された山内代表取締役社長に、承継の経緯やメンバーとの関わりについてインタビューさせていただきました。

**長副:** 先代の社長から事業承継し、約2年前に社長に就任されたそうですが、事業承継された時の状況を教えていただけますか。

**山内:** 私自身はもともと会社の代表や管理者になりたいという願望は0で、むしろマイナスより(笑)、入社前よりサラリーマン最強!と明確に思っていたくらいでした。そんな私ですが、先代の社長が2年前に突然亡くなられた時に、数日

考え抜いた結果、社長承継のお話を受けさせていただくことにしました。先代が亡くなる少し前に承継のお話はいただいていたところでした。当然ながら期待していただいていることは何よりも嬉しいものでした。ただ、先代の側にいた20年の間に、その立場であるからこそその苦悩や孤独も目の当たりにしていましたので「よくわからないなりの大きな責任と重圧」に、正直不安と恐れしかなかったです。

つづきはこちら 

# IT MAKES YOU HAPPY.

ITxDesignのチカラで、幸せにして、幸せになる。



**長副:** そうだったんですね。どのような考えから承継を決断されたのですか？

**山内:** 以前から他の会社からのお誘い等もありましたが、先代のことはもちろんのこと、今の会社も大好きでしたので、他社への興味は皆無でした。とはいえ、社長？代表？というものを他に適任者がいなさそうだから…で引き継いでいいものとは到底思えなかったですし、正直よくわかりませんでした。それでも時間は着々と過ぎ、周りからの期待やプレッシャーもヒシヒシと感じていました。そんな中、ふと《自分はこれからどんなふうに生きていくんだろう》と考えました。

**長副:** 自分はどうありたいかを考えたのですね。

**山内:** はい。私は営業やデザイン、開発のスペシャリストでもないし、何かに卓越したスキルを持っているわけではない。そんなことを考えていると、「自分はこれまでどんなふうに生きてきて、どんな人生だっただろう」と振り返る機会になりました。結局のところ、目の前の期待(先代社長やお客さまそして仲間の期待)に対してただ一生懸命応えようと最善を尽くしてきただけやなど。その結果、大きな失敗や後悔、苦悩もありましたが、それでも感謝に溢れ、すごく幸せであったと言える人生だったなと。だとすると、どこに行ったとしても、やること、やれることは一緒なんだろうと思いました。そして、先代が亡くなり会社がどうなっていくのかわからない状況で、みんなも不安。この状況は、**おそらく自分の人生史上最大の期待として発生していて、この期待に応えないとしたら、自分はこれからいったい、どんな期待に応えていきたいと言えるのだろうか…**。そう思ったら、結局、承継させていただく選択が、自分が「自分らしく生きる」ために最良の選択なんだなと思いついて迷いなく決断することができました。

**長副:** 「自分らしく生きる」それが承継へと導いた信念だったのですね。

**山内:** いま振り返れば、あの時の状況に失望ではなく希望を見出し期待して下さった先代のご家族や支えてくれたメンバーの皆さんの後押しもあってこそ現在があります。本当に感謝ですね。

## 頼りは、グーグル先生

**長副:** 周りの方にも相談されましたか？

**山内:** はい。もちろんわからないことだらけでしたので(汗)。当時は余計な不安をおおりにくもなかったですし、頼りない

姿も見せられなかったこともあり、会社のメンバーには聞けないし相談できないことが多かったです。なので実はグーグルで検索しまくりました(笑)。そもそも「社長とは?」「社長の責任とは?」「社長のリスク」「社長の仕事」とか(笑)。社長とはどういうものかを調べまくりました。

**長副:** グーグル先生に聞いたんですね(笑)。

**山内:** 調べれば調べるほど不安材料しか出てこなかったですね(笑)。

**長副:** 会社を継ぐと決断されて、経営に関してはどのように学ばれましたか？

**山内:** グーグル先生から得た知識を持って、先輩経営者に相談しに行きました。中小企業の経営者が集い学び合う兵庫県中小企業家同友会で先代が活躍されていて、さまざまな機会に同行させていただいてましたので、そのご縁から諸先輩のみなさんからも「ホンマに大丈夫か?」と心配いただき、ある人は「俺が育てたる!」と厳しくも温かく叱咤激励にて接してくださいました。現在も、先代が残して下さったこのご縁と学びの場所があるからこそ、一人の経営者として、高い意識と志を維持しながら成長し続けていると実感しています。

また、後からお聞きできた話ですが、先代と親しい同友会仲間の経営者の方が、先代が亡くなる以前に、「**なぜ承継者は山内くんなんですか?**」と尋ねられたそうです。その質問に先代は「山内くんただ一人が自分自身の良き理解者であった」と話されていたそうです。先代のことをもうひとりの父のように慕っ

ていましたので、言葉にできない嬉しさがありましたね(涙)。

**長副:** 人脈も先代が残してくれた財産のひとつですね。社長に就任してから会社のメンバーも変わりましたか？

**山内:** はい、この2年間で三分の一のメンバーが入れ替わりました。側から見たら、えっ?となるかもしれませんが、現在の私の考え方や方針に共感してくださっているメンバーが集い、感謝と誠実を忘れずお互い様の精神を大切しながら活躍してくれています。現在はなるべくしてなったメンバーだと思っています。支え合い活躍してくれてるメンバーには本当に感謝しています。

**長副:** メンバーとの関係で最初に取り組まれたことは何ですか？

## 知らずして何の役に立てるのか

**山内:** まずは企業理念(考え方)の再浸透ですね。そして、会社はなんのために存在するのかを改めて私自身も含め共通認識する必要があると考えました。先代が残して下さった企業理念は自分なり100%共感していました。それらをもう少しシンプルに伝えられるように、我が社のMISSIONとして【ITxDesignのチカラで幸せにして、幸せになる】会社にするに掲げました。

**長副:** 他にされたことはありますか？

**山内:** 私自身がメンバーを幸せにして自分も幸せになるため

に、まずはメンバーそれぞれが、どんなことで幸せを感じるか、どんな想いを持っているのかを知りたいと思い、【社長アンケート】を実施しました。

**長副:** 社長アンケートですか、面白いですね!それはどのような内容ですか？

**山内:** いくつか項目をあげると《あなたはどんな時に幸せを感じますか?》《その観点からみて今あなたは幸せですか?》《給料ぶっちゃけ幾ら欲しいですか?》《休みは何日欲しいですか?》《仕事とプライベートの比重は何対何ですか?》等等。子どもと一緒にいる時とか、仕事で認めてもらえた時とか、具体的に回答してくれました。

**長副:** 新たな発見もありましたか？

**山内:** はい。とあるメンバーの回答で、うちの会社を世界的な大手企業と思ってるのか!とどびっくりするような回答もありました(笑)。

でも、そのメンバーからすると、そういった期待感でうちの会社に来てくれたのかと新たな発見にもなりましたし、できるだけ、その期待にも応えていきたいとも思いました。

**長副:** お互いが期待してる関係は相乗効果になりますね。社員の想いが社長に届いているか、社長の想いが社員に届いているか、社内の通気性が良いか悪いか、とても大切ですね。ワンマン経営でも社員の本質をわかっている会社はうまくいってますし、「社長アンケート」はとても良い企画ですね。

**山内:** そうですね。自他ともに認めるハイパフォーマーな皆さんの中でも求めるものは様々。「誰よりも働くから休みよりもパフォーマンスに見合う給与がほしい」というメンバーもいれば、「給料は今のままでいいから、より家族との時間がほしい」というメンバーもいます。願望はさまざまです。それゆえに、**自分の正しさを他の人にも押し付けると、求めている人にとっては苦痛なので、どちらが上下、良し悪しではなく、みんなが互いの違いを認め合う環境作り**を大切にしていきたいと改めて思いました。弊社企業理念のなかにも【社員相互の人格を尊重し安定した生活基盤を】とあります。

**長副:** ついつい自分の考えだけが正しいと行動してしまうことってありますよね。でも組織の中ではそれが良い方向に行くとは限らないですね。他に取組まれたことはありますか？

**山内:** 会社をチーム制にして、今までの部とか課を全て廃止

しました。それぞれが役割を果たして支え合うチーム作りを。チームリーダーは「人の上に立つのではなく、人の中心となる存在」が望ましいと伝えています。リーダーは権力ではなく人徳を磨きメンバーに依頼する。依頼は本来、期待です。「能力」とは「他人や環境を責める事なく、目の前の期待に応えるチカラ」と弊社では定義しています。これは特別ではなく、皆が持ち合わせているものなので、本人しだいで成長幅は計り知れないですね。そう考えるとワクワクしますし、さらなる期待が生まれます。

**長副:** 依頼するということは、前提に期待と信頼があるからですね。

**山内:** そうですね、絶対できなさそうな人、またはやってくれなさそうな人には依頼しないですからね。5S委員や広報委員、イベント委員とかもあって、そこでもリーダーを立てています。誰でもリーダーとなり得るので、それぞれが期待に応え、活躍できる場を提供しています。

**長副:** 色々と取り組まれていますね。最近のヒットはありますか？

**山内:** 今期、新しく取り組み始めたのは、【ポジ会】です。

**長副:** ポジティブ会議？ですか？

**山内:** はい、社内の会議の名前を全て「ポジティブ会議」に変えました(笑)。それをみんなに始めるぞと伝えると、最初は失笑でしたが、それでも当日からポジティブ会議として始めてくれました。「今から〇〇のポジ会を始めます」とみんなで立って言います(笑)。ポジティブ会議なので、マイナスな雰囲気や否定的な発言になっていくと、「ちょっと待てよ、これってポジティブ会議やんな？ポジティブな意見を探そうか。」となって、効率良く肯定的な会議ができるよう

になりました。

**長副:** ポジ会、すごく良いですね！私も参加したいです(笑)。最後に山内社長がメンバーに期待していること、ご自身のビジョンを教えてくださいませんか。

**山内:** 強みと弱みは表裏一体、みんな得手不得手も異なり、正しさの基準も違います。それでもそれぞれが、強みを活かし、足りないところは補い合う。そして誠実と感謝を忘れず「お互い様」の関係をみんなで創り、継続して行ってほしいと思います。私自身は冒頭でも、「よくわからないなり大きな責任と重圧に、不安と恐れしかなかった」と申しあげましたが、それは現在もわかりません。おそらく、これからも代表である以上、なくなるものと認識しています。ただ、それを認識しているからこそ切れるスタートや判断があって、それに加え「自分自身が生きたい人生観」があるからこそ、どんなことがあっても勇気をもって前に進んでいけると思っています。これまで先代の人生観をもって成長してきた会社です。同じく、私の人生観がもたらす未来が、会社のご縁で出逢う人たち(メンバー、メンバーのご家族、お客さま、協力者の皆さま等)それぞれの幸せに少しでも貢献できるものであったらいいなと思います。

ある人に、「この世を去った後に、どんな人だったと記憶して欲しいか？」という質問をされたことがあります。私は、《最も家族とメンバーを幸せにした人》と答えました。これからも予期せぬ出来事が多々あるかとは思いますが、常に弱い自分と向き合い、不安と恐れと共存し、感謝・貢献・勇気をベースに、そう記憶される人生を歩みます。

#### 株式会社ファインシステム

〒675-0063

兵庫県加古川市加古川町平野185-1

TEL:079-420-6601 FAX:079-420-6602



## 2018年夏 暑中お見舞い申し上げます

全国各地で観測史上最高気温が連日更新される程の例年にない暑い毎日が始まりましたが、皆さんお変わりないですか？

私は、6月末に生命保険業界トップ6%のセールスマンが加入できるMDRTの勉強会に参加するために、ロサンゼルスに行って参りました。世界中のトップセールスマンが集まり、様々な文化のもと勉強会が行われました。世界中の名だたる方々に触れ、多くの刺激をいただき帰国しました。内容はもちろんのこと、伝える力、プレゼンテーション力、仕事に対する姿勢や覚悟に多くの感動を覚えました。私も、**生命保険の重要性や本質を伝えていく者として、もっとプレゼンテーション力を鍛えていく**必要があると改めて体感しました。

MDRT会員の名に恥じないためにも、皆さまに役立つ人であるために精進して参ります。

